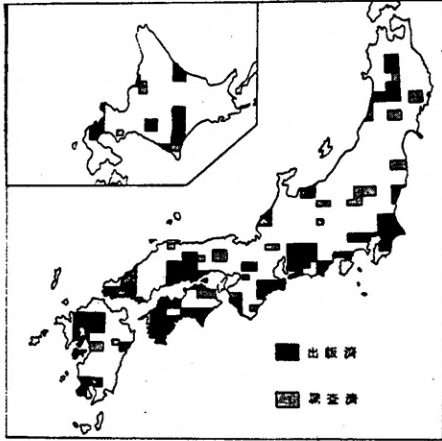


地質圖幅の效用

いろいろの金属や非金属の鉱物、石炭・石油・天然ガス・温泉などの地下資源を探したり、採取場所を選定したりするときには、まずその地質が解つていなければなりません。国土総合開発計画によるダム



地質圖幅出版状況圖

の建設や用水路・トンネルの開さく・又鉱山の開発工事のためには詳しく地質が解つているかないかで、工事の難易の判断が根本から変わってきます。だから私達は国土の地形を地形図によつて理解し、利用しているのと同じ意味で、国土の地質を地質図によつて理解していれば、有利に仕事をする事が出来るわけでありませう。たとえば未開発の石炭層を探する場合、地質圖幅から既存の炭田地帯と同一の地層の連続があると解れば、もつぱらそこに調査を集中することが出来ます。またトンネルを開さくするにしても、蛇紋岩や大きな割目から地下水が湧き出るような断層のある困難な場所を、地質圖幅で大體の見当がつけられませうと、事前に無駄な調査費の支出が喰ひ止められませう。此のように地質圖幅は具体的に極めて効用の大きいものであります。しかしながら地質圖幅の作製や刊行についての根本方針は、広く國家的な立場から、国土の地質の全貌を、紹介するためであることは言うまでもありません。

地質圖には、圖幅以外に資源の調査や純然たる研究の目的で作製されたものもあります。このような地質圖はいずれも特定の地域で特定の目的の下に調査されたものであり、いろいろの學術雑誌や報告書などに別々に掲載されていますので、手に入れるのに、苦勞しなければなりません。この点地質圖幅はつとめて多方面の目的に應じ得るように作製されている上に、一貫した組織で調査され、刊行されているので地形圖と同様に簡単に入手することが出来ます。

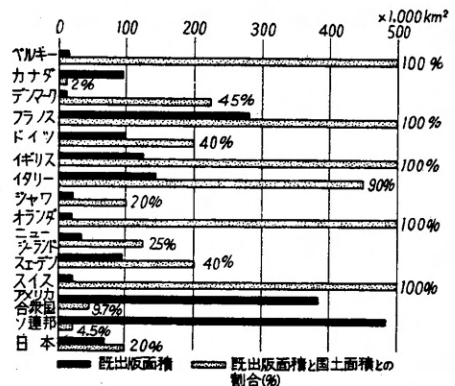
の建設や用水路・トンネルの開さく・又鉱山の開発工事のためには詳しく地質が解つているかないかで、工事の難易の判断が根本から変わってきます。だから私達は国土の地形を地形図によつて理解し、利用しているのと同じ意味で、国土の地質を地質図によつて理解していれば、有利に仕事をする事が出来るわけでありませう。たとえば未開発の石炭層を探する場合、地質圖幅から既存の炭田地帯と同一の地層の連続があると解れば、もつぱらそこに調査を集中することが出来ます。またトンネルを開さくするにしても、蛇紋岩や大きな割目から地下水が湧き出るような断層のある困難な場所を、地質圖幅で大體の見当がつけられませうと、事前に無駄な調査費の支出が喰ひ止められませう。此のように地質圖幅は具体的に極めて効用の大きいものであります。しかしながら地質圖幅の作製や刊行についての根本方針は、広く國家的な立場から、国土の地質の全貌を、紹介するためであることは言うまでもありません。

地質調査所ではそのおもな事業の1つとして地質圖の作製に當つています。すなわち日本全國を東西と南北の線で細かく区分をし、その1区分毎に地質圖を作つており、この地質圖のことを「地質圖幅」と呼んでおります。この地質圖幅に表現されておりますものは、岩石や地層の種類・分布・新しい地層と古い地層との関係及び地層の上下の関係や地下資源の賦存状態などがおもであり、各圖面毎に詳細な解説(地質説明書)をつけております。地質圖幅は、以前は7万5千分の1の縮尺で作られておりましたが、昭和26年以後は5万分の1にきりかえられ、地理調査所発行の地形圖とびつたり合わせられるようになりました。只今までに出来上つた圖幅は、全國の約1/4に及んでおりますが、まだ900圖幅以上が未完成であり、完成までには相當の年月がかゝると思ひます。又調査所では現在50万分の1の縮尺で全國を16圖幅に分けた地質圖を作製してあります。すでにその中3圖幅(京都・高知・福岡)が出版されておられ、近く全部完成の予定であります。なお又全國を1圖にまとめた300万分の1の地質圖も最近出来上りました。

今後便利な親しみ易い地質圖が続々と生まれることと思ひます。各方面にこれら地質圖の有効、適切な利用をのぞんでおります。

世界各國地質圖幅(縮尺1:100,000)

以上)作製狀況(1949年調)



[Bull. Geol. Soc. Amer. Vol. 60 (1949),

P. 1127 より]